

令和元年度
事業判定結果報告書

令和元年11月28日

志木市事業判定会

【 事業判定会 】

- 1 開催日時
令和元年11月9日（土） 午前10時00分～午後3時25分
- 2 場所
市民会館 203会議室
- 3 対象事業及び概要

No.	担当課	事業名称及び事業概要	担当課の要求
1	市政情報課	<p style="text-align: center;">AIチャットボット導入事業</p> <p>「AI（人工知能）」を活用して、24時間365日、WEBブラウザ上やLINEトークなどで市民の皆様からのお問い合わせに自動対応できる対話型コミュニケーションツールを導入するものである。</p>	新規
2	産業観光課	<p style="text-align: center;">多言語対応観光デジタルパンフレットを活用した シティプロモーション事業</p> <p>既存の志木市観光ガイドブックの内容をリニューアルした紙媒体による新観光ガイドブックを発行するとともに、紙媒体とあわせて印刷データを活用した多言語対応可能なデジタルガイドブックを導入する。また、紙面のリニューアルにあたっては、平成27年の観光ガイドブックに掲載したコミック「みらい式水輝」の続編を掲載するものである。</p>	新規 拡充
3	都市計画課	<p style="text-align: center;">高齢者安全運転支援装置設置補助事業</p> <p>高齢者のペダルの踏み間違いによる交通事故が多いことから、高齢者が運転する車に、安全運転支援装置を設置した者に対して、予算の範囲内において、その費用の一部を補助するものである。</p>	新規
4	教育総務課 学校教育課	<p style="text-align: center;">志木第四小学校プール解体及び水泳指導民間委託事業</p> <p>志木第四小学校のプールについては、毎年複数の穴が確認されており、補修を行ってきた。今年度についても同様の補修を実施したが、今後、穴と穴の間隔が狭いため亀裂が生じる危険性があり、水圧を伴うと重大な事故などの危険性が高まってきたことから、令和2年度からプールの使用を中止する。また、老朽化したプールを使用しないまま放置することは、既存設備の老朽化に伴う漏水事故など、思わぬ事故が発生することが考えられることから、児童の安全を最大限考慮し、解体を行う。 これに伴い、令和2年度の志木第四小学校の水泳指導については、プール施設を保有する民間事業者へ委託するものである。</p>	新規

事業No.2

事業名： 多言語対応観光デジタルパンフレットを活用した
シティプロモーション事業

担当課： 産業観光課

1. 判定結果

事業内容を抜本的に見直す

2. 事業判定会コメント

本事業については、①紙媒体による新観光パンフレットの発行、②コミック続編の制作、③システム導入によるデジタル化・多言語化の3つ論点から整理する。

①紙媒体による新観光パンフレットの発行

必要性は概ね理解するものの、単に前回発行したパンフレットをベースに作成するのではなく、どういった人をターゲットにするのか、志木市への関心を深めるような内容の充実を図るなどの見直しを再検討された上で作成していただきたい。

②コミック続編の制作

志木市を訪れた人の数や「いろは水輝、4式ロボ」の認知度など、既存コミックに関する効果検証がしっかりなされていない。続編を制作することには疑問がある。

③システム導入によるデジタル化、多言語化

多言語対応が民間まかせであり、市によるチェック体制が甘いこと、また、多言語化に対するニーズやデジタル化による迅速な情報更新に関する説明が曖昧であったことから、システム導入は時期尚早と考える。

全体として本事業を進める場合は、必要性や効果検証を整理するとともに、観光施策に関する戦略を定めるなど、方向性を決定したうえで進めていただきたい。

3. 自由意見

- ・市の魅力を理解・発信したいというのは大切なことである。
- ・税金を使う以上、効果をしっかりと説明する必要がある。
- ・4式ロボについても、出た当時の話題性に乗り切れなかった印象がある。そういった点を踏まえた戦略、計画が必要である。
- ・観光パンフレットの使い方を検討する必要がある（読むと志木市に来たくなるパンフレット、志木市を訪れた人用のパンフレットに分ける等）。
- ・リニューアルした観光パンフレットの評判を調査して、次回以降のリニューアルに活かしてほしい。
- ・ニーズ把握もしないまま安直に多言語化を進めている印象を受けた。本当に外国人に必要とされているのか、どのような効果が見込まれているかといった予測や事実確認が不十分であると思う。
- ・事業担当課内で誰をターゲットにするのか、何を目的にするのか話し合った方が良いと感じた。
- ・観光ガイドブックを必要とする人は、コミックを必要としていないと思う。
- ・ガイドブックを発行して終わりではなく、内容の時点更新などを確認する必要があると思う。
- ・紙媒体のパンフレットは、公共施設に常時置かれているよう不足分の補充管理をしてほしい。また、ノルディック全国大会などのイベント時にも効果的に配布してほしい。
- ・もし、コミックの続編を望む声が多いのであれば、有償販売も検討してみた方が良い。

事業No.3

事業名： 高齢者安全運転支援装置設置補助事業

担当課： 都市計画課

1. 判定結果

担当課の要求を認めない

2. 事業判定会コメント

「75歳以上の高齢者による事故の割合」や「ブレーキの踏み間違いによる事故の割合」などの根拠となる基本データが少なく、志木市における交通事故の発生原因についての現状分析もできていない。費用対効果が不明であり、効果予測が不十分と言わざるを得ない。

また、市外から訪れた運転者が事故を起こす可能性もあることから、対策は広域的な視点でも考える必要があり、この事業を志木市が単独で行うべきなのかについても再検討する必要がある。

今後も高齢者人口の増加が見込まれる中、高齢者向けの交通安全対策は重要な課題である。運転免許証の自主返納促進やデマンド交通制度・交通標識の充実や啓発活動など、市の交通政策全体の議論をしっかりと行い、効果的な組み合わせで事業を進めていただきたい。

3. 自由意見

- ・相反する要素（運転免許証自主返納・デマンド交通⇔踏み間違い防止装置）なので、どうバランスをとっていくかの議論が大切。
- ・交通安全施策全体のデータに基づく分析や方向性の議論、優先度をしっかりつけていただきたい（事業の組み合わせも大切）。
- ・犠牲になる人の命があることを考えると、安全運転についての理解を運転者個々人がしっかり持つべきだと思う。重大交通事故につながるリスクを強調し、交通安全の普及啓発に力を入れていくべきである。
- ・今回の提案事業は、事業名に「運転補助」とあることから、運転免許証返納と逆行する政策だと感じられた。
- ・「自分は安全装置をつけているから大丈夫だ」という気持ちだが、返納が進まない原因になると思う。他の方策をとってほしい。予算は、デマンド交通やバスなど効果が期待できる事業に使ってほしい。
- ・運転免許証の自主返納も促進してほしい。自主返納者へデマンドタクシーの利用を勧めてはどうか。

事業No.4

事業名： 志木第四小学校プール解体及び水泳指導民間委託事業

担当課： 教育総務課、学校教育課

1. 判定結果

事業内容を一部見直す

2. 事業判定会コメント

志木第四小学校のプールは、老朽化が進行し、児童の安全確保が難しいことから、令和2年度について水泳指導を民間事業者に委託することは、概ね賛成である。

ただし、移動にかかる経費については、再検討を行い削減を図っていただきたい。

また、現在、「志木市水泳指導のあり方基本方針検討委員会」において、今後の水泳指導のあり方について検討を行っているのであれば、志木第四小学校のプールをすぐに解体するのではなく、安全対策を講じた上で、検討委員会での検討結果が出た後に対応策を判断するべきである。

なお、今後は他校においても、プールの老朽化による同様の課題が生じることが予想されることから、児童、教員、財政すべてにとっての最適解となるよう、将来的なビジョンを持って検討を行っていただきたい。

3. 自由意見

- 一番影響を受けるのは今通っている子ども達である。
- プール使用中止の判断がやむを得ないなら、水泳授業の民間委託も1つの選択肢であると考え、近隣校との共同利用と併せてしっかり検証して今後に生かすべき。
- 解体については、「志木市水泳指導のあり方基本方針検討委員会」の答申があるまで、安全対策をした上で先送りしてはどうか。
- 「志木市水泳指導のあり方基本方針検討委員会」で共同利用や費用の面も含め水泳指導の質の向上と一緒に答申してもらったら如何か。
- 小学校にプールがないと、志木市に転入しようと思う人にそれなりに影響が出ると思う。そうならないようによく検討してほしい。
- 委託金額については精査が必要。児童の加入保険はどうなっているのか。
- 気温35度以上になると、熱中症対策としてプールの授業が中止になってしまうことから、志木第四小学校に限らず民間委託を実施し、平等な指導を受けられるようにしてほしい。
- 児童や教員、また市の財政の全てにおいて最適解となるよう持続性という視点を踏まえて議論してほしい。
- 将来的には、全天候型の市民プールをつくって、全12校がそこで授業を受けられるようにしてほしい。